

MST-nano2

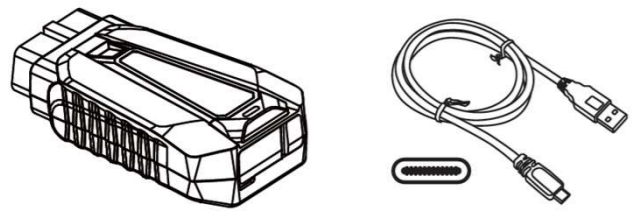
クイックスタートガイド

重要：ご使用前に必ずお読みください

この度はMST-nano2をご購入いただき誠にありがとうございます。本書を参考にユーザー登録、アップデートを行なった後にご使用ください。

1. セット内容の確認

製品がすべて揃っていることをご確認ください。



- MST-nano2 本体 (1台)
- ソフトケース (1個)
- クイックスタートガイド(本書) (1部)
- USB Type Cケーブル (1本)

・万一、不足品や製品の一部が破損していた場合は、お買上げ日から1ヶ月以内にお買い上げの販売店へお申し付けください。
 ・セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2. パソコンとの接続とファイルの表示

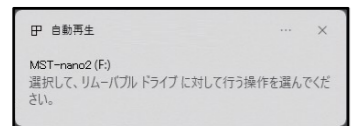
1. 付属のUSBケーブルを使用して本体のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。



本体のゴムカバーを開きます

・パソコンとの接続は、必ず付属のUSBタイプCケーブルをご使用ください。
 ・インターネット接続されているパソコンで実施してください。

2. 本体が「MST-nano2」の名称でパソコンに認識されます。



3. 「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックして本体内のファイルを表示します。

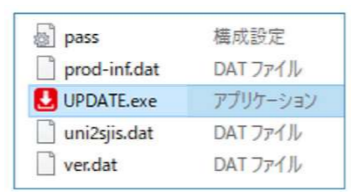


・自動再生が有効でない場合は、PCの「デバイスとドライブ」から「MST-nano2」を開いてください。



3. ユーザー登録

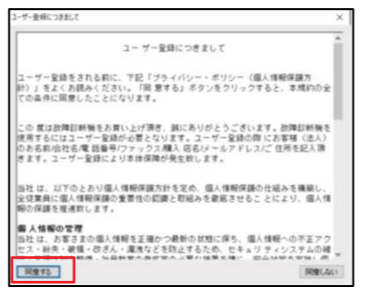
1. 表示されたファイル一覧から「UPDATE.exe」ファイル(.exeは拡張子)を開きます。
 ※UPDATEプログラムはWindows10以降に対応しています。



2. [登録内容変更]をクリックします。

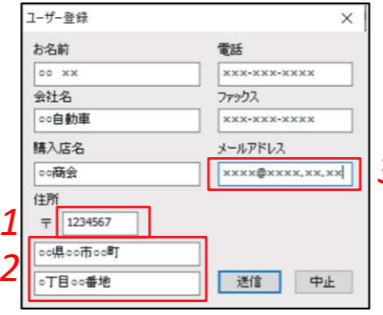


3. 「ユーザー登録につきまして」(プライバシーポリシー)が表示されます。内容を確認して[同意する]をクリックします。



・同意する為にはインターネット通信を行う必要があります。
 ・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより通信がブロックされていないか確認してください。

4. 「ユーザー登録」入力画面が表示されます。すべての入力欄にお客様の情報を入力してください。



1. 〒 (郵便番号) は半角、ハイフン無しで入力してください。
 2. 住所は2行とも入力してください。
 3. メールアドレスは半角英数で入力してください。メールによる認証作業がありますので、必ず確認できるメールアドレスを入力してください。

5. 入力情報に間違いがないことを確認して[送信]をクリックしてください。(未入力項目があると送信することができません)



6. 正常に送信されると「メールを確認して認証を行ってください。」のダイアログが表示されます。

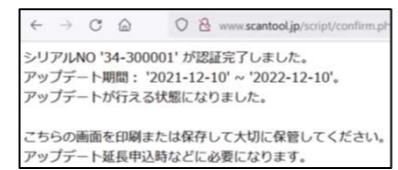
4. 登録受付メールの確認と認証

1. 送信後、入力したメールアドレス宛に登録受付メールが届きます。
 2. メールを受信フォルダを確認すると「admin@scantool.jp」から「scantool.jp 登録受付メール」が届いています。メールを開いて本文にあるリンクをクリックしてください。



・認証確認メールが届かない場合は迷惑メールをご確認ください。
 ・リンクをクリックしてもエラーが表示されたり、アップデート期間が表示されない場合は、登録受付メールを再度ご確認ください。お客様情報を送信された回数分登録受付メールが配信されますので、最新の登録受付メールをご確認ください。

3. リンクをクリックすると、ご使用のブラウザが起動して認証が完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。



・アップデート期間・本体保証期間は登録日より1年です。
 ・登録完了メールは迷惑メールフォルダに振り分けられる場合があります。

4. 以上でユーザー登録は完了です。続いてアップデートを行い、最新のソフトを本体にインストールします。

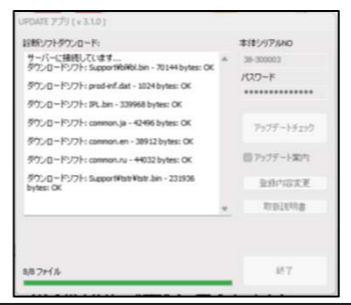
5. アップデート

本体とPCとの接続やアプリケーションの起動は、本書の「2. パソコンとの接続とファイルの表示」を参考にしてください。

1. 「UPDATEアプリ」の[アップデートチェック]をクリックします。

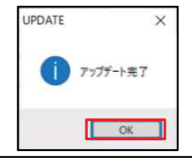


2. ダウンロードが開始され、本体内に保存されます。



・ダウンロード完了まで、USBケーブルを取り外さないでください。

3. アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。



・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
 ・管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認してください。

4. 以上でアップデートが完了しました。次にOBD検査で使用されるパソコンに「J2534 Utility」をインストールします。「6. J2534 Utility のインストール」に続きます。

取り外すには
 「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後に取り外してください。

注意

セキュリティソフトについて
 本体をパソコンに接続した場合や、「UPDATE.exe」(アプリケーション)を実行した場合に、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除、または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

UPDATE.exe (アプリケーション) について
 万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、本体内に保存してください。
<http://www.scantool.jp/downloads/update/UPDATE.exe>

アップデート時のエラーについて
 「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに、本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることをご確認いただき、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・UPDATE.exe (アプリケーション)
- ・pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

取扱説明書のダウンロードについて
 取扱説明書のダウンロードは「UPDATE アプリ」の【取扱説明書】をクリックし、保存場所をご指定いただきダウンロードできます。



特定DTC 照会アプリについて
 OBD 検査でご使用になるパソコンに特定DTC 照会アプリを事前にインストールしてください。詳しくは「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。

本体保証について

本体保証期間 **ユーザー登録から1年間**

6. BANZAI J2534 (Do IP)のインストール

アップデートが正常に完了すると、本体内にインストーラーが生成されます。

1. 本体とパソコンのUSBポートを接続し、パソコンから「MST-nano2」→「support」→「cgi」→「win-app」→「j2534-util」フォルダの順に開きます。

2. 「j2534-util」フォルダ内の「setup.exe」を実行します。

・ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

3. インストーラーが起動します。[次へ]をクリックします。



4. インストール先を確認するダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。



・インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして保存先を指定してください。

5. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。



・右記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックして許可してください。



6. インストールが完了しました。[閉じる]をクリックして終了します。



7. インストールが完了するとデスクトップに「BANZAI J2534 DoIP VCI設定」のショートカットが生成されます。



8. 有線接続の場合は「7-A」、無線接続の場合は「7-B」へお進みください。

7-A. 【有線】車両と本体およびパソコンの接続

※無線接続で検査を行う場合は「7-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続」に進んでください

1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。※本体のステータスランプが緑と青に交互に点滅します。



2. 付属の USB Type C ケーブルを使用して本体の USB Type CポートとOBD検査で使用するパソコンのUSBポートを接続します。



・USB Type C ケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を間違えると認識しない場合があります。

・パソコンとの接続は、必ず付属のUSB Type C ケーブルケーブルをご使用ください。
・初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されてセットアップが終了するまでお待ちください。

7-B. 【無線】車両と本体およびパソコンの接続

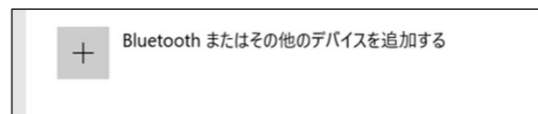
1. 車両がイグニッション“OFF”であることを確認します。本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション“ON”または必要に応じてエンジンを始動してください。※本体のステータスランプが緑と青に交互に点滅します。



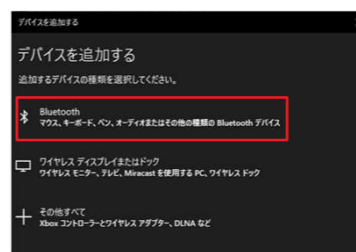
2. パソコンの、Windowsマークを選択し、[設定]→[デバイス]→[Bluetoothとその他のデバイス]の順に選択します。



3. [Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する]を選択します。



4. [Bluetooth]を選択します。



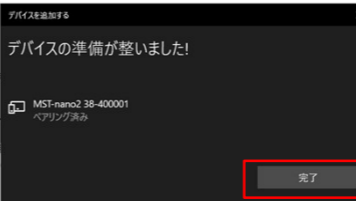
5. [MST-nano2 38-XXXXX(Xは接続する本体のシリアル)]を選択します。

・本体のシリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。例) S/N : 38-400001



※該当のMST-nano2が表示されない場合は、本体と車両が正しく接続されているかを確認してください。

6. “デバイスの準備が整いました！”と表示されたら[完了]を選択します。

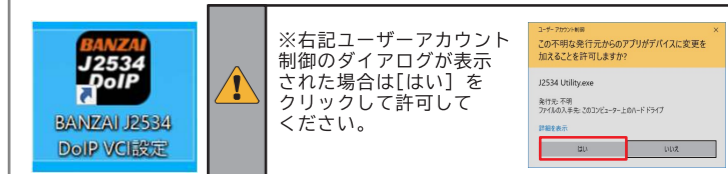


7. [その他のデバイス]に“MST-nano2 38-XXXXX(Xは接続する本体のシリアル)”があることを確認し、画面を閉じます。

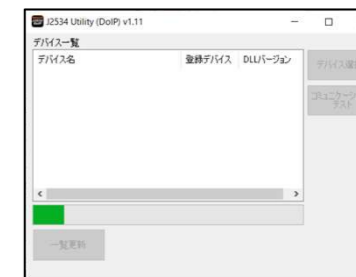


8. BANZAI J2534 (Do IP)で本体をパソコンに登録

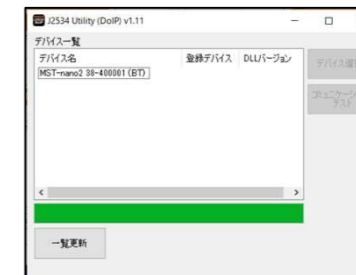
1. デスクトップの「BANZAI J2534 DoIP VCI設定」を起動します。



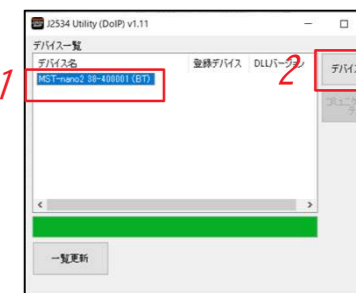
2. 接続されている本体(デバイス)の検索が開始されます。



3. 接続した本体がデバイス一覧に表示されます。

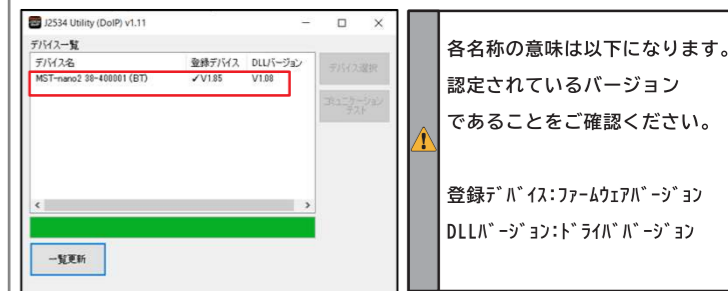


4. 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し[デバイス選択]をクリックします。



※本体とパソコンの接続方法によって以下のどちらかを選択してください。
有線で接続した場合: MST-nano2 38-XXXXX(USB)
無線で接続した場合: MST-nano2 38-XXXXX(BT)

5. 「登録デバイス」「DLLバージョン」欄にバージョンが表示され、接続された本体がデバイスとして登録されます。

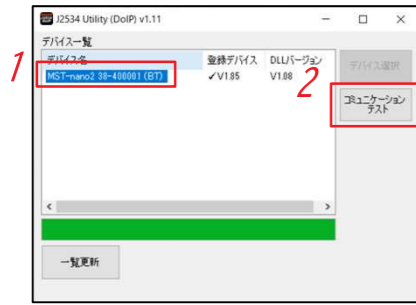


各名称の意味は以下になります。認定されているバージョンであることをご確認ください。

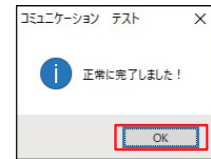
登録デバイス:ファームウェアバージョン
DLLバージョン:ドライババージョン

※次ページへ続く

6. 続いてコミュニケーションテストを実施します。
デバイス名をクリックして選択し【コミュニケーションテスト】をクリックします。



7. コミュニケーションテストが完了すると「正常に完了しました」ダイアログが表示されます。【OK】をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility(DoIP)」を【×】をクリックして終了します。以上でセットアップは完了です。



8. 『特定 DTC 照会アプリ』を起動して、OBD 検査を行なってください。



- ・特定 DTC 照会アプリについては「OBD 検査ポータル」サイトをご覧ください。
- ・セットアップが完了したデバイス名（「MST-nano2_シリアル番号（USBまたはBT）」）が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。1台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。

【オプション】ICカードリーダーのセットアップ

オプションのICカードリーダー（AB Circle Japan(株)製CIR415A-01）のBluetooth接続セットアップを行う場合は、以下の手順の通り進めてください。詳細はAB Circle Japan(株)のホームページ (<https://www.abcircle.com/jp/>) をご確認ください。

1. Windows Bluetoothドライバソフトの入手

- ・以下のURLからAB Circle Japan(株)のホームページへアクセスします。

URL <https://www.abcircle.co.jp/product/16/CIR415A/>

- ・ページ下部の「Bluetooth Windows Driver インストール」[ダウンロード]を選択しパソコンにZIPファイルを保存します。

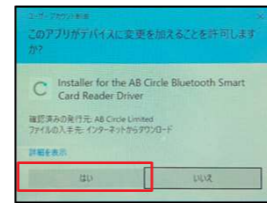


2. Bluetoothドライバソフトのインストール

- ・保存したZIPファイルを解凍して、フォルダ内の“Setup.exe”を実行するとドライバソフトのセットアップが始まります。



- ・右記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は【はい】をクリックして許可してください。



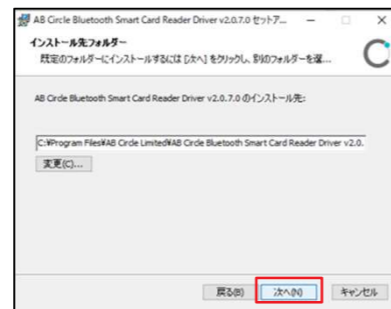
- ・画面の指示に従って、セットアップを進めます。
- ・[言語を選択する]は“Japanese - 日本語”になっていることを確認し【OK】を選択します。



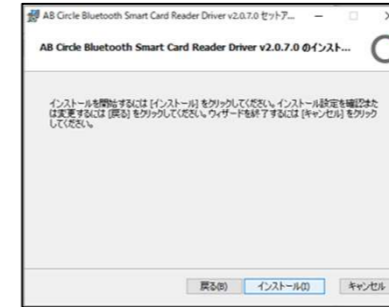
- ・“ようこそ”画面が表示されたら、【次へ】を選択します。



- ・インストール先フォルダを確認し、【次へ】を選択します。



- ・【インストール】を選択します。



3. Bluetoothのペアリング

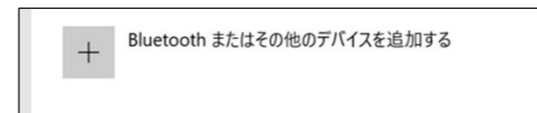
- ・“プツ”と鳴るまでICカードリーダーの電源ボタンを長押しし、電源を入れます。



- ・パソコンの、Windowsマーク を選択し、[設定]→[デバイス]→[Bluetoothとその他のデバイス]の順に選択します。



- ・[Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する]を選択します。



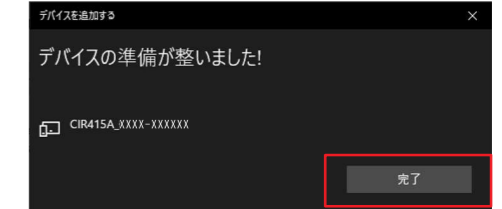
- ・[Bluetooth]を選択します。



- ・[CIR415A_XXXX-XXXX(Xは接続するICカードリーダーのシリアル)]を選択します。



- ・“デバイスの準備が整いました！”と表示されたら【完了】を選択します。



- ・[その他のデバイス]に“CIR415A_XXXX-XXXX(Xは接続するICカードリーダーのシリアル)”があることを確認し、画面を閉じます。

その他のデバイス

CIR415A_XXXX-XXXX
ペアリング済み

- ・『特定 DTC 照会アプリ』の[設定]画面の[電子車検ICタグリダ]から“Circle CIR415A_XXXX-XXXX PICC 0 (Xは接続するICカードリーダーのシリアル)”を選択して下さい。

- ・電源を切る場合は“プツプツ”と鳴るまでICカードリーダーの電源ボタンを長押ししてください。

- ・使用後はICカードリーダーに付属の USB Type C ケーブルでICカードリーダーを充電してください。

MEMO
